



女ばかりじゃない。

株式会社アバンティ
代表取締役会長 渡邊智恵子

幼少期～学生時代

- 北海道知床半島にある斜里町の農家で次女として生まれる
- 働き者の母を見て育つ
- 高校3年生担任の先生に「これからは女性も手に職をつけて自立するべきだ」といわれ、税理士を目指して東京の大学進学する

社員5名の米国系企業に就職



当時社長である小林さんとの写真 3

アバンティ 立ち上げ

- 1985年：子会社の社長に就任
⇒現在のアバンティ
- 1990年：オーガニックコットン事業スタート
- 1995年：ブランド「プリスティン」を立ち上げ
⇒製品の販売を本格化
長女出産
阪神大震災
etc...

【同日のテキサスの農場比較】

オーガニック Cotton の農場



落葉剤を使わないので葉が緑のまま

一般綿の農場



落葉剤を使用した後

※綿は農薬集約型農産物

世界の耕作面積の2.1%に綿が植えられており

殺虫剤は世界の使用量 15.7%

殺虫剤・落葉剤・除草剤などの農薬全体 6.8%

(2008年時点)

【 インドでの児童労働】



インドのコットン種子生産地域の約90%を占める
4州で働く **約40万人**の児童労働者の中で…

5~14歳未満、約70~80%が女子

バングラデシュ・ダッカ近郊ビル崩壊



2013年4月24日 死者1,127人、負傷者2,500人

バングラデシュ史上最悪の産業事故、労働災害となった。

グローバル展開する欧米や日本の大手衣料品業者が、同国の劣悪な労働環境や安価な労働力に依存して利益を上げている状況が浮き彫りとなり、論議を呼んだ。⁷

オリジナルブランド PRISTINE（プリスティン）

気持ちのいい毎日のために、手を掛けすぎない・手を抜かない。
プリスティンはオーガニックコットンに寄り添う、
ライフスタイルブランドです。



5つのプライド

無染色

メイドイン
ジャパン

顔の見える
ものづくり

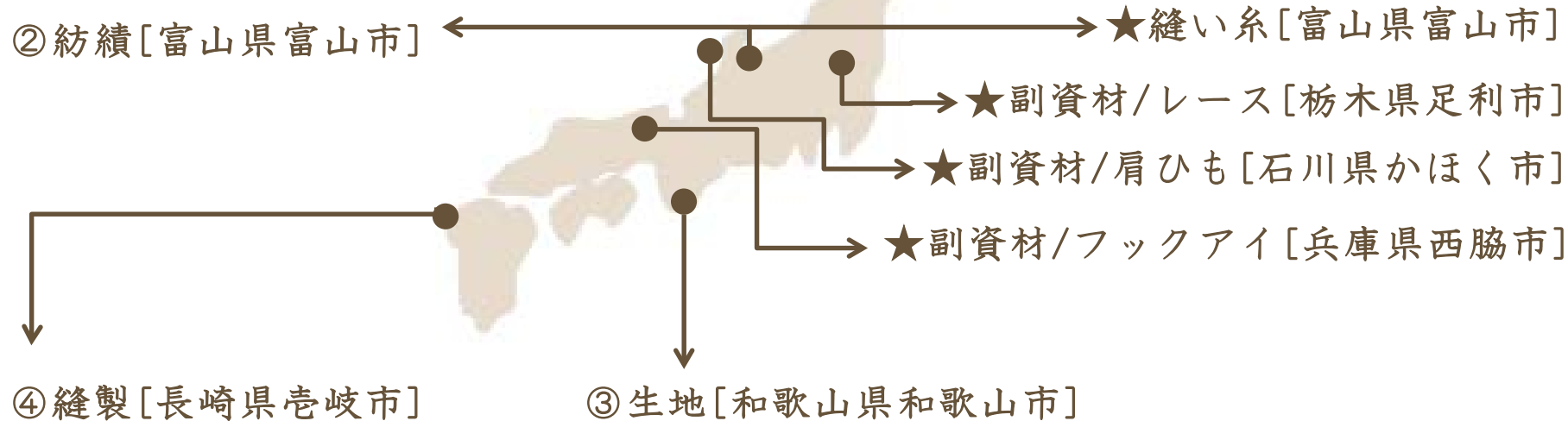
やさしい
仕様

てんとう虫



【 オールオーガニックブラの場合 】

①原綿[アメリカ・テキサス州]



今までに開発した生地は1000種類以上。

全国各地の職人さんの手によって丁寧に作られています。

掛け算ではない売り方・・・



お客様の思い出のある
大切な一枚を、もう一度
「わたしの宝もの」に変える取り組み。

Re-COLOR

京都の職人が一枚一枚丁寧に染め替えます。
茜・藍・丁香・特染などの植物染料を用い、
媒染剤には重金屬を使わず、ミョウバン・鉄を使います。
着染めも承ります。

Re-MAKE UP

暮らしの中でついでしまったシミや
小さな穴の上から刺繍をしたり、
性の生地と縫い合わせたりして、
新たな魅力を生み出します。

Re-USE

ブラジャーやベビーの肌着が必要と
されていることを知っていましたか？
回収したアイテムは丁寧に選別し、
まだ着られるものは東南アジアなどの
必要としている人のもとへお届けします。



Re-COTTON

最終的に使えなくなってしまったものは、
はぐして繊維に渡し、詰め物のわたに
したり、糸にしたり…
新たないのちを吹き込みます。
まさに水無浄土のはじまりです。

お客様の特別な一枚を、
「誰かの特別な一枚」に変える取り組み。

回収した服でつくる New UP-CYCLE Label

2020年ローンチにむけて
スタート！

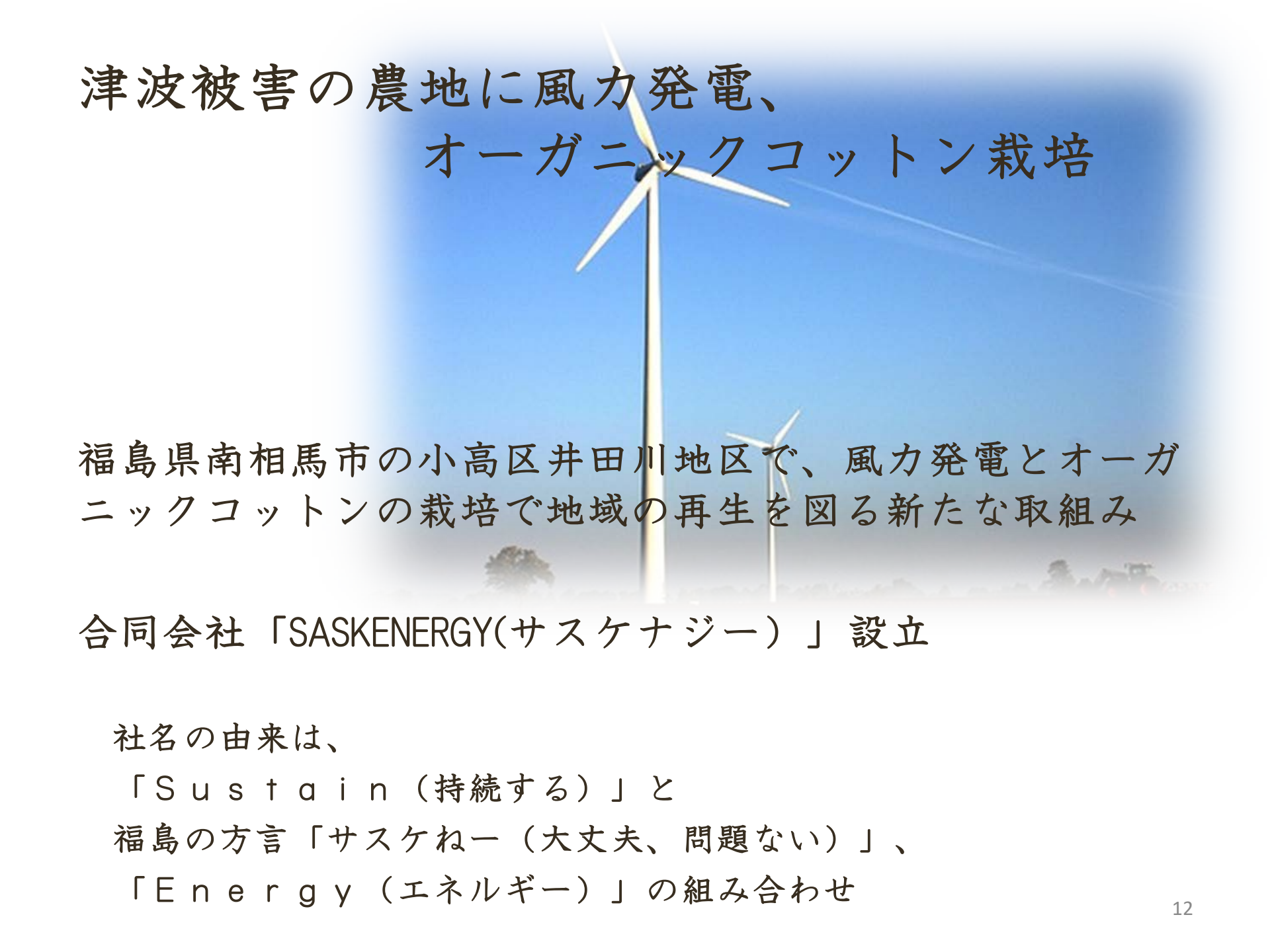


PRISTINEの考えるリサイクル
「リブリ プロジェクト」

PRISTINEでは、
今までお客様に買っていたいた
PRISTINE商品のリサイクルをしています。
“Re-PRISTINE”の意味から“Re-Pri Project”
と名付けました。心もたんずも軽くなる、
アップサイクルの取り組みです。



津波被害の農地に風力発電、 オーガニックコットン栽培



福島県南相馬市の小高区井田川地区で、風力発電とオーガニックコットンの栽培で地域の再生を図る新たな取組み

合同会社「SASKENERGY(サスケナジー)」設立

社名の由来は、

「S u s t a i n (持続する)」と

福島の方言「サスケねー (大丈夫、問題ない)」、

「E n e r g y (エネルギー)」の組み合わせ

自伝書『女だからできたこと』

購入方法：**PRISTINE** ONLINE SHOP

渡邊さんのオーガニックコットンに出会った
時の感動を今も覚えています。
優しくて、美しくて、心も体も気持ちいい！
昔の人は纏う服で体を直したそうですね。
だから薬を飲むことを服用って言うんです。
沢山の物を持つのではなく、本当に価値の
ある物を少しだけ。それをこれからのスタン
ダードにしたいですね。

歌手 **加藤 登紀子**



Toward the Rolls-Royce of organic cotton.
オーガニックコットンのロールスロイスを目指して

女だから、できたこと。

渡邊 智恵子

CHIEKO WATANABE

渡邊さんのオーガニックコットンに出会った
時の感動を今も覚えています。
優しくて、美しくて、心も体も気持ちいい！
昔の人は纏う服で体を直したそうですね。
だから薬を飲むことを服用って言うんです。
沢山の物を持つのではなく、本当に価値の
ある物を少しだけ。それをこれからのスタン
ダードにしたいですね。

歌手 加藤 登紀子

budori

ご清聴ありがとうございました

